

福井市自立支援協議会 こども部会 課題提起シート (2023. 11)

課題提起者名 (所属) 福井県こども療育センター 津田明美

課題	<p>※「～が必要である。」という書き方にしてください。</p> <p>学齢期に特別支援教育のみで支援をうけている児、保護者に福祉の活用についての情報の提供が必要である。</p> <p>就労支援は学籍があるときは教育の業務（進路指導部）となっているが、障がい支援の情報を教育と共有することが必要である。</p>
概要及び現状	<p>【概要】</p> <p>診断（知的障害・発達障害）を受けて通常校に在籍し教育と医療を受けてきた児の進路指導に障害福祉の観点からの情報が不足している。</p> <p>【現状】</p> <p>① 学齢期、支援級在籍、療育手帳所持。中学卒業にあたり、家の仕事を手伝うということで進路指導終了。その後障害福祉の活用なし。相談先を知らない。本人は家の仕事の手伝いとアルバイトで生活。（外来受診児の姉）</p> <p>② 通常の高校に進学。特性があるものの、学校生活では教育での支援で過ごせた（障害者手帳（一））。就職も一般枠で採用される。今後の継続した支援先が不明。（医療・・・小児科のフォロー終了、精神科では症状ない時のフォローはない（？））（特別支援教育のフォロー終了）</p> <p>③ 通常の高校に在籍して一般就労すると福祉の情報が不足する。</p>
改善の方針	<p>障害者の就労支援のネットワークと教育の進路指導のネットワークをつなげる。</p>
具体的な取組内容	<p>【取組内容】</p> <p>① 進路指導の教員が障害者雇用の仕組みを学ぶ機会をもつ</p> <p>② 全ての高校生に障害者雇用について知る機会をもつ（進学校でも）</p> <p>③ 中学時代にいろいろな進路があることを知らせる。（職場体験） 正規雇用 非正規雇用 起業 等・・・</p> <p>【理由】</p>
期待される効果	<p>【効果】</p> <p>① 引きこもりが減る</p> <p>② 障害分野でなく働ける人材が増える</p>